

浦安クリテリウム 出場者募集

時 11月30日(土)午前9時～午後3時

所 浦安海岸明海・日の出地区の前面護岸特設周回コースおよび総合公園内

申込

次の受付期間内に、浦安クリテリウム特設サイト <https://urayasu-criterium.com> から申し込み

一般の部

- ▶ 市民先行受付…9月30日(月)～10月14日(祝・月)
- ▶ 一般受付…10月15日(火)～11月17日(日)

JBCFの部

9月30日(月)～11月17日(日)

◆レースカテゴリー

クラス		定員 (先着順)	参加資格	参加料
一般の部	ビギナー	6周11.4km	35人	▶ 一般…6000円 ▶ 18歳以下(大学生を除く)…3000円
	ミディアム	8周15.2km	50人	
	チャレンジ		60人	
JBCFの部	Y1+Y2	10周19km	各100人	各クラスJBCF登録選手 ▶ U23以上…6600円 ▶ U19以下…5500円
	M			
	F			
	E1			

※各クラスのレベルなどについて、詳しくは、浦安クリテリウム特設サイト <https://urayasu-criterium.com> をご覧ください

問 浦安クリテリウム実行委員会事務局 (市民スポーツ課内) ☎712・6819

ID 1043407

うらやす音楽村

プロ、アマ、ジャンルを問わず、音楽愛好家が参加し交流する浦安市最大級のフェスイベント。当日に行う人気投票で1位になった出演者には、令和7年1月の「Uスタイル～うらやす音楽村スペシャル～」出演権を進呈します。音楽の交流にぜひおいでください。

時 9月29日(日)午後1時～5時 (開場=0時30分)

所 市民プラザ

内容 市内在住・在勤・在学のミュージシャン24組によるライブパフォーマンス《ゲストミュージシャン：JACK BLUE (ロックバンド)》
※申込不要、直接会場へ

問 市民プラザ ☎350・3101

(生涯学習課) ID 1040496

認知症の方にも、誰にでも、あたたかい心を

認知症になったら何もわからなくなる、普通の生活を送れなくなる、というイメージを持っていませんか。認知症は誰もがなりえるものであり、高齢化の進展に伴い、今後認知症の方も増えていくことが予想されています。市内では、認知症になっても活躍している方や、

前向きに暮らしている方がいます。認知症を自分事として捉え、当事者と家族のメッセージから、認知症になっても地域の中で自分らしく暮らせる社会を考えてみましょう。

認知症とは？

さまざまな原因により脳に変化が起こり、認知機能が低下し、日常生活に支障が出る状態です。高齢者に発症するイメージが強いですが、高齢者に限らず若い人でも発症することもあります。

当事者と家族の

声

当事者

認知症という言葉が悪い方に先行してしまっているような感じがします。「認知症になったら終わり」というイメージがありますが、そうではありません。認知症と名前が付いてしまい、たいそうなものになってしまったように思いますが、気楽にやるのが一番だと思います。認知症になったからといって「認知症の人」と捉えないで、普通に接してほしいです。自分のいいところに自信をもって生活すればいいと思います。

家族

認知症になったからといって、いきなりすべてができなくなるわけではありません。少し工夫をしたり、ちょっとした手助けがあればできることはたくさんあります。できることを奪わずに、助けが必要なところだけをサポートすることが大切だと思います。

今後の不安から、夜も眠れない日が続いたことがありましたが、担当医やケアマネジャーなどが支援体制を組み、サポートしてくれてとても安心しました。介護サービスを利用することで精神的にもとても助かりました。

周りの人の心がけ

- 1 「認知症だから」の前提をとりはらう
- 2 本人が得意なこと、頑張ればできることは頼りにし、力を発揮してもらう
- 3 さりげなく自然な気遣いを

いつでも相談できる場

- 地域包括支援センター (愛称ともづな)
認知症や介護などさまざまなことについて専門職が相談に応じます。一人で抱えずにお気軽にご相談ください。
▶ 中央地域包括支援センター (市役所3階) ☎381・9037
▶ 浦安駅前地域包括支援センター ☎351・8950
▶ 新浦安駅前地域包括支援センター(マーレ内) ☎306・5171
▶ 富岡地域包括支援センター ☎721・1027
▶ 高洲地域包括支援センター (エスレ高洲内) ☎382・2424

ボランティアを利用する・活動する

問 浦安市ボランティアセンター ☎380・8864

浦安市ボランティアセンターでは、お手伝いを必要としている方とお手伝いしたい方のマッチングを行っています。マッチングすると、認知症の方だけでなく、誰でもお散歩の付き添いや、話し相手などをボランティアの方にお願ひできます。また、認知症の方も含め、ご自身が活動する相談もできます。ご興味のある方はぜひお問い合わせください。

問 高齢者包括支援課 ☎381・9028

ID 1016228

8月24日 博物館で夕涼み

夏の夕暮れを楽しんでもらえるように、「博物館で夕涼み」を開催しました。
 日中の暑さが和らいできたころ、ちょうちんのあかりがともった屋外展示場は、活気ある昭和20年代の浦安へとタイムスリップしました。
 昔遊びや駄菓子屋での買い物など、来館された皆さんは過ぎ行く夏の夕暮れを楽しんでいました。屋内でも、大きな貝殻への絵付けや、ジャンピングカップをつくるといった体験も行いました。
 まだまだ暑い日が続きますが、郷土博物館で浦安の伝統を感じてみてはいかがでしょうか。



8月26日 ボーイスカウトの最高位、菊スカウト章受章者が市長を訪問

ボーイスカウト浦安第2団所属の田中智貴さん、田中義悠さん、市川嵩人さん、中島雄輝さんが、ボーイスカウトの過程における最高位「菊スカウト章」へ進級したことを報告するため、市長を訪問しました。



野外活動やグループ活動を通して自主性や協調性を育むボーイスカウト。その中でも、ほかのスカウトの模範となり、野外活動の実施や健康について学ぶことなどを経て認証された者が、菊スカウト章へ進級します。
 内田市長は「このたびは受章おめでとうございます。これからも受章者としての誇りを持ち、さらなる高みを目指して頑張ってください」とお祝いの言葉を送りました。
 受章者の皆さんは「これまで活動の中で培った知識をこれからの活動に生かしていきます」「今回の受章はゴールではなく新たなスタートだと思っています。さまざまな活動をしながら、後輩たちにしっかりと伝えていきます」と意気込みを語ってくれました。
 栄えある菊スカウト章の受章、おめでとうございます。

8月28日 サッカーU-16日本代表の篠崎健人さんが市長を訪問しました

市内在住の篠崎健人さんが、サッカーU-16日本代表に選出された報告のため、市長を訪問しました。



篠崎さんは6月19日から23日までJヴィレッジスタジアム（福島県双葉郡楢葉町）で行われたU-16国際ナショナルドリームカップ2024 JAPANと、8月16日から20日まで中国で行われたPEACE CUPにU-16日本代表として出場しました。大会の感想を聞かれると「(PEACE CUPでは) 残念ながら優勝することはできませんでしたが、自分の成長につながりました。」と語ってくれました。
 憧れの選手は元日本代表の内田篤人さんという篠崎さん。今後の活躍にも期待しています！

9月7日・8日 第9回浦安百縁商店街

浦安駅周辺で、第9回浦安百縁商店街が開催されました。
 浦安百縁商店街は、浦安市や商店会をより活気あるものにしていくことを目的としており、「百円」の商品を中心に販売されているのが特徴です。今回は、駅前の各通りにグルメリュウや雑貨など、たくさんのお店が軒を連ね、大変にぎわいました。
 メインステージでは、楽器の演奏やダンスなどが披露されていたほか、パレードや大道芸などさまざまな催しが行われ、駅前を通る方々から多くの拍手が送られていました。



9月1日 平和のつどい2024を開催しました

市役所1階の市民ホールで、「平和のつどい2024」を開催しました。
 この催しは、次第に風化していく原爆・戦争の記憶をとどめ、核兵器の恐ろしさ、戦争の悲惨さを伝え、平和の尊さを理解してもらうことを目的に行われました。
 市長は、開会のあいさつのなかで「原爆や戦争について、風化させず後世に伝えていくこと、そして平和につなげていくことが浦安市としての務めであります」と話しました。



まず、8月7日から10日に、被爆の実態を学ぶために長崎市へ派遣した平和使節団からの報告がありました。続いてのオンライン講和では、長崎市の被爆体験伝承者が、被爆者から直接受け継いだ被爆体験と平和への思いを話しました。また、平和使節団による朗読劇も行われました。
 現在も世界では戦争が起こっています。過去の戦争や原爆の被害を知り、一人ひとりが平和のためにできることを考えてみませんか。

市の公式SNSアカウント

市公式X
@urayasu_koho



市公式LINE
アカウント
@urayasu_city



カタログポケット
https://www.catapoke.com



マチイロ
https://machi-iro.town



パソコン・スマートフォンなどで、広報紙が読めます